

「新時代の学び」に向けた1人1台タブレット端末の活用について ～教師編～

目的

新しい時代に必要となる資質・能力「学びに向かう力」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」の習得を目指し、児童生徒が「自ら考え主体的に行動できる力」を身に付けるためのツールとして活用すること。



タブレットを活用して授業観の変革・授業改善を

「教える」 → 「学びとる」

教師が教える



インプット中心

子どもが学びとる



アウトプット中心

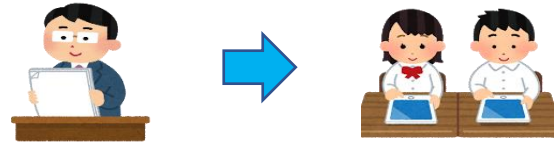


ICT活用で効果的に実現！！

主体的・対話的な学びによる資質・能力の育成



個別最適化された学びによる基礎学力の育成



子どもによる効果的なICT活用 ⇒

「主体的・対話的で深い学び」の実現

自分たちで撮影・録画できる。



観察・実験の写真、音読の録音、技能の動画を共有する。



考えや資料をもとに話し合える。



GoogleSlideで考えをアウトプットし、共有する。



自分の考えを整理・表現できる。

自分のペースで学習できる。(AIドリル)

「オクリンク」を使って、考えを整理・表現する。



AIドリル（ドリルパーク）

- ・基礎・基本から発展的な問題を収録
- ・AIが個々にあった課題を選択
- ・教師は管理画面で学級や個の理解状況・進捗を把握可能